

DAIKUEI

Vol.92



〔目 次〕

巻頭言 新年のご挨拶 池田隆之会長 ……………1	官公庁との懇談会
新年のご挨拶	◇国土交通省近畿地方整備局営繕部 ……………14
大阪府知事 ……………2	◇大阪府都市整備部住宅建築局設備課 ……………14
国土交通省近畿地方整備局	新技術・新商品説明会を開催 ……………15
営繕部長 中山 義章 ……………3	技術ニュースを発行 ……………18
新年交礼会を開催 ……………4	4団体協議会を開催 ……………22
日空衛第27回全国会議開催 ……………6	第49回野球大会を開催 ……………24
第12回配管技能コンテストを開催 ……………7	第16回大空会ゴルフ大会を開催 ……………28
配管技能コンテストに参加して ……………9	青年部会・なでしこ設備会だより ……………29
(学生の部上位)	告知板(賛助会員募集・行事予定) ……………31
第60回技能五輪全国大会報告 ……………11	年賀ご挨拶(会員・賛助会員一同) ……………32
令和4年度安全衛生大会を開催 ……………12	編集後記 ……………34

(表紙写真)

大手前合同庁舎が完成

大阪市中央区大手前地区に、鉄筋コンクリート造の地上14階建、延床面積約48,800㎡の国の施設である大手前合同庁舎が昨年9月に完成し、近畿地方整備局をはじめとする行政機関が移転し、同年11月21日から業務が開始されたところ。

新庁舎はPFI事業として整備されたもので、大規模災害に備えた防災機能の強化や分散機能の集約化等を図るとともに、国の庁舎としては初めて環境対策として快適性を確保した上で、熱負荷抑制や自然エネルギー利用、省エネ技術を導入し、設計段階でZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) Orientedを実現している。



新 年 の ご 挨拶

会 長 池 田 隆 之

明けましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

まず、はじめに、いまだ世界中で猛威の衰えない新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになった方々にお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

近年、温暖化の影響とみられる大規模な水害や干ばつ等の気象災害が途上国を中心に世界各地で頻発し、市民生活に深刻な影響を与えています。

そうした状況を踏まえ、一昨年11月に英国で開催されたC O P 26（国連気候変動枠組条約第26回締結国会議）において「産業革命前からの気温上昇を1.5度に抑えるとした努力目標」が合意されるとともに、昨年11月にエジプトで開催されたC O P 27においては、途上国に対して、温暖化による「損失と被害」を支援する基金の創設が合意されました。

一方、我が国においても、2050年「カーボンニュートラル」（二酸化炭素等温室効果ガスの排出量実質ゼロ）を目標に掲げ、グリーン社会の実現に向けて、住宅・建築物においても、更なる省エネルギー化に向けた取り組みが急務であります。

こうした中、改正労働基準法により2024年4月から建設業にも適用される時間外労働の上限規制に対応するため、「働き方改革」のより一層の推進が求められております。

そのためには、I C Tの活用による施工の省力化技術の一層の普及や現場業務の効率化、合理化に寄与するバックアップ体制の確立等、長時間労働改善に向けた生産性向上が急務であり、元請けのゼネコンの協力も必要であります。

空調衛生工事業界としましても、各諸団体への働きかけとともに、生産性向上における先進的な取組を普及させ、「脱炭素社会」の実現に向けた省エネ・省CO₂の最先端技術を駆使した「Z E B（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の普及促進等、先導的役割を担い、業界としてのプレゼンスを更に高めていく必要があります。

そのためにも、当協会は、空調衛生工事業が魅力ある産業であることをこれからも発信してまいります。

最後になりましたが、協会活動の活性化と業界の更なる発展のために、会員・賛助会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、各社の繁栄と皆様にとって素晴らしい一年になることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

大阪府知事

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻が世界に衝撃を与え、その後のエネルギー危機や物価高騰などが私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。

今年は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対策を着実に進めるとともに、大阪府・大阪市が連携して取り組んできた成長戦略、まちづくりについて、大阪・関西万博をインパクトとして、これまで以上に府市一体となって大阪が成長・飛躍する土台づくりを進めていきます。

万博の開催まであと2年余りとなり、いよいよ会場建設工事が本格化します。国や博覧会協会、経済界、府市が一体となって準備を加速させ、確実に万博の成功につなげます。

大阪の成長・発展には、その基盤となる都市インフラが不可欠です。万博にあわせてさまざまなプロジェクトが進行しています。淀川左岸線、なにわ筋線、大阪モノレールや北大阪急行の延伸などのインフラ整備や、3月に新駅開業を迎えるうめきた2期をはじめ、新大阪駅周辺地域や大阪城

東部地区などの拠点開発を着実に進めていきます。昨年策定した、大阪全体のまちづくりの方向性を示す新しいグランドデザインをもとに、市町村とも協力しながら、官民一体となって取り組めます。

さらに、今後高い確率で発生すると予想される南海トラフ巨大地震に備え、府市で大阪湾の防潮堤の液状化対策を進めており、三大水門の更新と合わせて、災害対応力を強化していきます。

こうした施策を推進していくためには、建設業に従事する人材の確保と皆様が安心して働くことができる環境づくりが重要です。貴協会におかれましては、熟練技能工の育成を図るとともに、優れた技能労働者の確保等に取り組まれています。今後とも、大阪の建設業、大阪・関西経済のけん引役としてご活躍いただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の今後ますますのご発展と、今年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りいたします。



新年のご挨拶

国土交通省 近畿地方整備局

営繕部長 中山 義章

一般社団法人大阪空気調和衛生工事業協会並びに会員の皆様には、清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より官庁営繕事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会は、長年にわたり建築物の省エネルギー化を推進され、業界の中でも重要な立場を担っておられます。

国土交通省では、「2050年カーボンニュートラルを見据えた取組」として、昨年3月に「官庁施設の環境保全性基準」を改定し、その運用として、新築する場合は原則「ZEB Oriented」相当以上の整備を行うこととしております。これを受け、近畿地方整備局営繕部では、施設整備を行うにあたり、地域性を考慮し、環境保全性・安全性・経済性等について総合的に検討を行い、老朽化対策や長寿命化対策に併せ、建築物の省エネルギー化を、強力に推進する必要があると考えております。この困難かつ重大な目標達成に向け、建築物毎の特性に応じた実効性の高い総合的な対策を講じることが必要となり、様々な工夫や対応が求められています。

また、働き方改革や業務効率を図る取組として、営繕工事ではBIMの活用を行っています。一般図レベルまでの設計図書の作成や工事受注者へのデータ提供を見据えた取組、施工部位での干渉チェック、建物のボリュームや景観のシミュレーションでの活用と、いずれも工事での効率化につながるものと考えております。営繕工事は、工種

も多岐にわたることから、BIMにより配管や配線、ダクト等の干渉チェックなどにより工事を行うことが重要であり、平面より立体的に検証することで工事への理解が深まると考えております。

今後、様々な工夫や対応が求められますが、とりわけ建築設備分野で先導的な役割を担い、各種ノウハウを培われてきた皆様の技術力に大いに期待しております。

現在、建設資材の高騰や納期の遅延による工事発注への影響や、大阪・関西万博の建設に伴う労働者の一極集中による人手不足が懸念されているなか、国の営繕業務については、より着実な執行が求められています。近畿地方整備局営繕部においては、適切な履行期間の確保や予定価格の設定等、1件1件丁寧に対策を講じてまいります。

また、建築分野を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあり、少子高齢化などによる担い手不足や、若手育成の問題などが課題として指摘されています。近畿地方整備局としましても、この課題の解決に向けて、「働き方改革」を一層進め、労働環境を改善し、やりがいと達成感のある「建設業界」となるよう努めていきたいと考えております。

最後に、空調衛生工事の重要な担い手である皆様のこれまでのご尽力・ご活躍に敬意を表しますとともに、今後とも業界がより一層発展されることを期待し、また、貴協会並びに会員の皆様にとって本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

令和5年新年交礼会

賑やかに「癸卯」スタート



年頭の挨拶を述べる池田会長



来賓挨拶を述べる中山様（左）と岸本様（右）

コロナ禍により3年ぶりの開催となる令和5年新年交礼会は、1月11日午後6時から大阪・難波のスイスホテル南海大阪で関係官庁・団体、近畿各府県空衛協会からご来賓をお迎えし、感染拡大防止対策を行い、約250名と参加者数を例年より制限して開催しました。

池田隆之会長は年頭挨拶で、冒頭、コロナ感染症により亡くなった方々に対してお悔やみを申し上げ、「温暖化の影響により世界各地で大規模水害等の気象災害が頻発し、途上国への支援が求められている。一方、わが国でも2050年カーボンニュートラルに向け更なる省エネ化への取組みが急務。」と述べました。

さらに、池田会長は、「2024年に向け一層の生産性向上による働き方改革を進めるとともに、脱炭素社会に向け先導的役割を担い業界としてのプレゼンスを高めていく。」と述べました。

ご来賓の国土交通省近畿地方整備局営繕部長・中山義章様は、祝辞の中で「2050年カーボンニュートラルに向け昨年3月に官庁施設の環境保全性基準を改定し、新築の場合は原則 ZEB Oriented 相当以上の整備を行う。」との取り組みを示されま

した。また、「営繕工事でのBIM活用により工事の効率化による生産性向上を図るとともに、先導的役割を担う皆様の技術力に大いに期待する。」と述べました。さらに、「業界として担い手不足や若手育成の課題があるが、現場の声を踏まえやりがいと達成感のある建設業界となるよう努めていく。」との抱負を示されました。

また、ご来賓の大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課長・岸本博之様は、「府では、昨年4月から都市整備部と建築部が統合し、都市整備部内に住宅建築行政を担う住宅建築局が発足し



「癸卯」の門出を祝って乾杯



年賀の挨拶を交わしながら和やかに交歓

たところ。2025年の大阪・関西万博に向けてはこれから工事が本格化していくが、成功に繋がっていききたい。」と述べました。また、「昨年7月に大阪カーボンニュートラル推進本部が発足し、全庁挙げて脱炭素社会に向け取り組んでいく。」との決意を示されました。さらに、府の取組として「ESCO 事業では、計111施設で実施しており、また府内市町村においても一層の拡大を行う。省エ

ネ化に向けては、皆様のノウハウ、技術力が不可欠なので、府発注工事への協力をお願いします。」との期待を寄せられました。

城口俊雄副会長の「カンカン乾杯」の発声で杯を上げたあと、祝電が披露され、賑やかに交歓しながら新年の挨拶を交わしました。

最後に福原保豊副会長の音頭で一本締めを行い、交礼会を終わりました。



挨拶する藤澤会長

北海道旭川市に全国から約230名参集 ～CNへ先導的役割に意欲～

日本空調衛生工業協会（目空衛 会長 藤澤一郎氏）の第27回全国会議が3年ぶりに令和4年9月21日に北海道旭川市のアートホテル旭川で新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、約230名で開催された。基本課題のテーマに「空調衛生工事業の独立性の確立。」を掲げ、藤澤会長は、二つの課題に触れ、「その一つが、資機材の価格高騰や納期遅れが生じており、適正な価格と工期の契約に向け各方面に働きかける。」と述べ、もう一つの課題に「改正労働基準法の適用迄1年半となった働き方改革。」を挙げ、「より良い労働環境の実現に向け、関係機関・団体と連携して取組を進める。」と述べた。さらに、「カーボンニュートラル(CN)の実現に向け、業界の存在意義は高まっ

ている。社会的使命を果たしつつ、これまで培ってきた設備技術の経験とノウハウを活用し、その実現に向けて先導的役割を果たしていきたい。」と意欲を示した。

その後、来賓を代表して国土交通省北海道開発局の波積大樹次長が挨拶をされた。

基調講演では、北海道科学大工学部建築学科の魚住昌広教授が「2050年カーボンニュートラルポスト成長時代の建築・都市。」と題して、CNの実現に向け空調衛生工事業が果たすべき役割、建築・都市の在り方等について話された。

この後、事例発表が行われ、最初に雪屋媚山商店の本間弘達代表取締役番頭が、雪冷房の導入や雪冷熱を活用したデータセンター事業の取組を紹介された。次いで、行動展示を導入したことで有名な旭山動物園の坂東元園長が「伝えるのは命繋ぐのは命。」と題して講演が行われた。

会議の後小憩し、着座による懇親会が開かれ情報交換・意見交換が行われた。



会議風景

3年ぶりに第12回配管技能コンテスト開催

技能者、学生・生徒計34名が腕を競う

学生の部 高校生・龍野さん優勝

一般の部 江口氏が接戦を制し栄冠

大阪空気調和衛生工業協会（会長池田隆之氏）主催の第12回配管技能コンテストが8月20日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校で開催され、一般技能者、専門学校生・高校生合わせて34名が腕を競った。

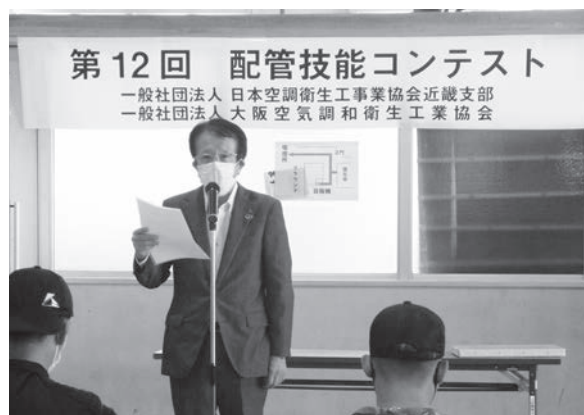
このコンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、全国の空調衛生設備団体の中で唯一、同協会が実施しているもの。協会のコンテスト実行委員会が運営に当たったほか、布施工科高校など多くの教諭が審査委員・審査補佐委員としてバックアップした。



一般の部上位入賞者（前列）



開会の挨拶する福原副会長



閉会の辞の西岡技術委員長



学生の部優勝・龍野さん



一般の部優勝・江口氏



競技の様子（学生）



競技の様子（一般）

開会式で挨拶に立った福原副会長は、学校や関連団体など運営関係者の協力にお礼を述べ「建設業界は、若年労働者の減少、技能者の高齢化が顕著となり人材育成が喫緊の課題となっている。今年11月に千葉県千葉市で開催される第60回技能五輪全国大会に出場する布施工科高校の学生2名も参加されているが、コンテストを通じて現役の配管工と建築設備を学ぶ若者が一堂に会して配管技能を競う意義は大きい。互いの技術力が磨かれ、技能向上に役立つことを願っている。」と激励した。

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者17名（一般の部）、建築設備関連の学科を履修中の北大阪高等職業技術専門学校、大阪工業技術専門学校、布施工科高校、東住吉総合高校、彦根工業高校の学生・生徒17名（学生の部）が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベル、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦した。

作品はサイズ誤差、出来栄え、水圧試験による漏れ検査などで審査され、学生の部では東住吉総合高校の龍野美玖さんが見事優勝に輝き、大阪府知事賞を受賞、大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課産業人材育成グループ課長補佐・今田久美氏からご挨拶のあと、同賞が手渡された。

準優勝は布施工科高校の中田結斗君が獲得し、以下、3位・矢野一愛君（東住吉総合高校）、4位・吉田陸人君（彦根工業高校）、5位・酒部優生君（彦

根工業高校）が受賞した。

布施工科高校の中井宏典校長より、学生の部の参加者に激励と期待のご挨拶があった。

一般の部ではツカサの江口昌弥氏が優勝し、大阪府職業能力開発協会会長賞が授与された。準優勝は大谷設備の加藤洋氏、3位・松尾浩二氏（KOSEI）、4位・杉浦巧馬氏（藤井設備）、5位・前田大輝氏（ツカサ）がそれぞれ受賞した。

競技終了後に行われた表彰式で小池清隆審査委員長（布施工科高校教諭）は学生の部について「寸法の減点は、ほぼ全員が一桁で、出来栄えの減点で差がつく結果となった。優勝者はほぼ完璧に近い完成度。」と講評し、一般の部についても「優勝者の総減点数は1点とほぼ完璧で、上位は激戦であった。漏水による失格者が6名も出たのは残念であった。」と講評した。

また、挨拶に立った同協会の西岡実行委員長は「現場を支えているのは熟練技能者であり、これからもさらに技術を磨いてほしい。当協会も、このコンテストを通じて、熟練技能者の育成、後継者の育成に寄与していきたい。」と総括し、参加者にエールを送った。

配管技能コンテストに参加して

☆☆優勝（大阪府知事賞）☆☆

大阪府立東住吉総合高等学校
住環境系列 龍野 美玖

私が配管技能コンテストを通して感じたことは少ない時間で上位を目指して諦めずに努力することです。これまでも製図や実習で上位を目指して頑張ってきましたがそのときはたくさん時間があり自分で考えて少しずつ丁寧に作業をすれば上位を狙えましたがコンテストではゆっくり考えている暇はないのでそれまでにできる練習でどうしたら早く正確できれいな作品になるかを先生にコツを聞いたり、失敗しそうな



点を聞いて考え何回もやり直しました。コンテストまでに練習できる日が少なかったけれど、その数回で努力し、当日には最後まで何回も作品を見直した結果優勝することができました。この優勝した経験と努力を忘れずにこれからもいろんなことに恐れず挑戦していきたいです。

☆☆準優勝☆☆

大阪府立布施工科高等学校
設備システム専科 中田 結斗

私が今回の配管技能コンテストに参加したのは、高校生になってから新型コロナウイルス感染症拡大の影響で様々な学校行事がなくなったため、少しでも高校生の間に何かに参加したいと思っていました。そんな時に、このコンテストの事を先生から教えていただき、ぜひ参加したいと思い参加しました。

私は、参加するからには少しでもいい成績を残したいと思っていたので、気合を入れて本番までの練習に一生懸命取り組みました。限られた練習時間の中で、寸法の測り方、自動ねじ切り機の操作

や手順、シールテープの巻き方など丁寧に確認しながら練習を繰り返しました。練習するたびに課題が見つかり、その度に改善や修正を行いました。

そして本番を迎え、少し緊張しましたが落ち着いて一つ一つの作業を丁寧に行うことを自分に言い聞かせながら行いました。完成作品は、これまでで一番いい出来だと思いました。結果は、準優勝でしたが充実した気持ちですごく嬉しく思いました。多くの方々の協力と応援のおかげで貴重な経験といい思い出が出来ました。本当にありがとうございました。

☆☆3位☆☆

大阪府立東住吉総合高等学校
住環境系列 矢野 一愛

私が、配管コンテストに出場したのは、先生の勧めからでした。もともと、実習などで作品を作るこ



とは好きでした。はじめは、コンテストと聞き、上位を目指すことよりも、「作品が時間内に完成するか、水漏れがないか」などが気かりでした。ただ、練習を重ねる度に、ここまでやったなら上位に入賞できるのではないかと自信へと変わっていきました。

授業内ではコンテストほど、少しの誤差や少しのミスで作品の出来栄や評価が変わることを意識していなかったため、当日はいい緊張感を持って挑めたと思います。この貴重な経験を生かして将来に役立てていきたいと思っています。

☆☆ 4 位 ☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校

建設科 吉田 陸人

私が今回の配管コンテストに出場させていただきましたきっかけは元々モノづくりに興味があり、設備担当の先生から進めていただいたからです。出場するからには先輩や同級生にも負けないことを目標に練習を重ねてきました。練習の最初は夏休み中ということでも暑い中の力作業でも大変でした。なかなか寸法も合わず、配管に傷などがついたりうまくいきませんでした。細かなところや見栄えや工具の使い方などを先生や講師の先生の協力を得て徐々に時間内に課題を完成させることができ、見栄えもよくなり作業に楽しさを感じられ自分が上達していることを実感する



ことができました。コンテストでは残念ながら最優秀賞を獲得することができませんでしたが、落ち着いて自分のペースで作業ができたので、練習してきてよかったと思いました。本当に自分にとりとてもいい経験となるコンテストだったのでこの先も様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。出場にあたりたくさんの方の協力で技術を上達することができました。本当にありがとうございました。ぜひ来年もリベンジさせていただきたいと考えております。

☆☆ 5 位 ☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校

建設科 酒部 優生

今回大会に出場することになり夏休みの期間、一生懸命に練習に取り組んできました。先輩方のように今回も最優秀賞を獲得したいという気持ちで、練習で同じ学校の出場者よりもたくさん課題に取り組み、後輩へのアドバイスを行ってきました。そのおかげで規定時間には完成することができ、仕上がりの美しさにもこだわられるようになりました。初めて挑むコンテストで出場者の多さに圧倒され緊張し、練



習ではなかったミスもありましたが、制限時間の中で何とか課題を完成させることができました。結果は自分の中で満足のいく結果ではありませんでしたが、担当の先生、指導いただきました講師の先生に感謝し、教わった知識や技術を生かして今後も目標を持ち、努力を続けていきたいと思っています。

令和4年度 第60回技能五輪全国大会（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 幕張メッセ）

10年連続大阪府選手団に 配管職種で出場！

大阪府立布施工科高等学校

1、はじめに

日頃よりお世話になっております。今回もご報告の機会をいただき、改めてお礼申し上げます。



有村君と高江君

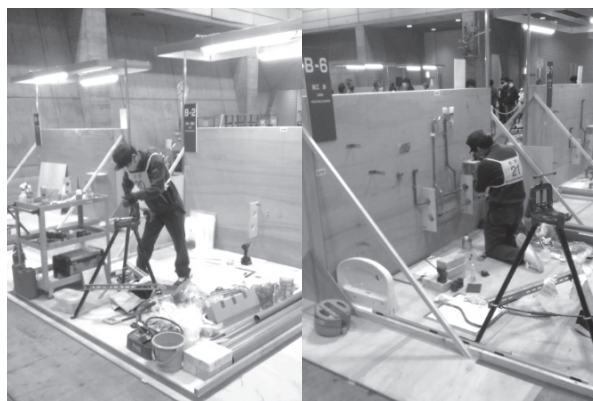
大阪府五輪大会予選を通過した本校生2名が、第60回技能五輪全国大会大阪府代表として競技してまいりました。

2、全国大会に参加して

11月3日（木）に千葉県に入りました。

翌日の4日（金）には、朝7時45分頃に幕張メッセに到着し、会場にて工具類の場所や会場の雰囲気などを確認しました。8時30分より競技説明や競技場所の抽選、材料の確認、工具の展開などを行いました。その後、開会式はコロナ感染対策によりWEB配信での開催だったので、午後からは大会本番に向けてのミーティングを行いました。

大会本番の5日（土）7時30分頃に会場に到着し、8時より受付開始、8時10分より競技課題の配布、支給材料の確認、競技準備が行われ、8時30分より競技が開始された。当日の課題は、事前公表されている課題から若干の配置変更されました。前日のミーティングにより変更点の予想と寸法の変化などは想定内でした。開始1時間30分で墨出しや立てバンドの設置が完了し、洗面の取り付けや銅管ロウ付け作業へと取り掛かりました。まわりの選手との差はなく作業が進み、休憩



配管作業中の有村君と高江君

後の1時間15分では、銅管下部、銅管、を終わらせました。昼食後には塩ビ管と山場の銅管曲げ20A、15Aを行い順調な仕上がりでした。標準時間まで残り3時間となった段階では銅管の曲げ部と銅管継手やバルブとの接合や銅管部分との接合、混合水栓、排水管、水圧試験を残していました。高江君は、練習の段階では標準時間内に終わることができていましたが、本番では少し苦戦していました。有村君は、練習から打ち切り時間内には完成させていましたが、本番の緊張からか徐々にペースを乱し、後半に大きく作業が遅れてしまいました。今年も課題の変更があり昨年の隔板2枚からさらに隔板が追加され、年々課題の難易度が上がっている。配管職種参加選手34名中33名が参加して競技が開始されましたが標準時間内に完成させたのは10名程度、未完了も10名程度おり、多くの選手が苦戦を強いられました。本校生徒の高江君は標準時間の10分遅れで完成し、有村君は、打ち切り時間まで諦めず競技を続けましたが、未完了となってしまいました。

高校での技能五輪10年連続出場は、最多記録の更新継続となりました。貴協会には、生徒が練習する材料費の支援を賜り誠に感謝しております。ありがとうございました。

令和4年度

安全衛生大会を開催



令和4年度安全衛生大会を昨年10月5日に大阪市西区の建設交流館8階グリーンホールで開催し、優良工事現場を表彰するとともに、安全衛生・労働衛生を誓い合いました。

今回の大会は、昨年に引き続き、コロナ禍での開催となるので、表彰式のための短時間とするとともに、出席者を定員の1/3の約80名に限定。

最初に、業界でこの1年間で不幸にも事故などで亡くなられた方々に対して黙祷をささげてくださいました。

大会で冒頭挨拶に立った池田隆之会長は「昨年の建設業における死傷者数と死亡者数が全国的に

増加傾向にあり、労働災害の内容としては、「墜落・転落」が最も多い。

このため、墜落・転落災害に対して、『フルハーネス型墜落制止用器具』の適切な使用の徹底に努めているところ。また、増加する高齢労働者に関する国のガイドラインの周知徹底と、今後増加が見込まれる外国人労働者の災害防止のため安全教育を徹底する。」と述べました。

さらに、「労働災害を防止するためには、安全管理や労働衛生教育の粘り強い推進、リスクアセスメントによる安全な作業の徹底に、より一層取り組んでいく必要がある。」と呼びかけました。



挨拶する池田会長



来賓挨拶 大阪中央労働基準監督署
安全衛生課長 森田 健二様

続いて、大阪中央労働基準監督署の安全衛生課長・森田健二様から来賓挨拶をいただきました。森田様は、「労働災害が、建設業を含め全産業で増加傾向にあり、特に建設業の死亡者数が前年より倍増し、「墜落・転落」に起因するものが多い。命綱GO活動などをはじめとする各種取組の積極的な展開。」を呼びかけるとともに、「働く方が安全で安心して働ける職場の実現を目指して取組んでほしい。」と祝辞を述べられました。

このあと、安全衛生優良工事現場の表彰式に移り、優良事業所19社を表彰しました。

受賞者代表が、池田会長から表彰状を受け取り、同代表が『安全の誓い』を力強く読み上げました。

引き続き、参加者全員で労働安全スローガン『安全は 急がず 焦らず 怠らず』と労働衛生スローガン『あなたの健康があってこそ 笑顔があふれる健康職場』を斉唱して作業の安全を誓い、大会を終了しました。



会長より工事表彰



受賞者代表による「安全の誓い」



全員でスローガンを唱和し安全衛生を誓う



閉会の辞を述べる福地労務委員長

表彰会社名 (19社)

株式会社朝日工業社大阪支社	浦安工業株式会社大阪支店	鳳工業株式会社
木村工業株式会社	クウケン株式会社	三機工業株式会社関西支社
新日本空調株式会社大阪支店	株式会社精研	ダイクウ株式会社
大晃設備株式会社	株式会社日設関西支店	有限会社原設備
株式会社不二設備工業所	株式会社前田商会	株式会社マサキ設備
丸住株式会社	美和設備工業株式会社	柳生設備株式会社
若林設備工業株式会社		

官公庁との懇談会

国土交通省近畿地方整備局営繕部

(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部は、昨年12月7日、シティプラザ大阪で国土交通省近畿地方整備局営繕部との懇談会を開催し、B I M活用の取組状況、Z E Bへの取組み、営繕工事における働き方改革の取組などについて質疑応答を行った。

今回の第18回懇談会には国交省から5人、近畿支部から13人が出席。B I M活用の取組状況についての質問に、国交省側から「設計B I Mでは、現在設計中の4件で実施中。施工B I Mでは、受注者提案によりB I Mの活用を図っている。」との取組みが示された。また、Z E Bへの取組みについては「国の基準により今後の新築は、規模によらず原則Z E B Oriented相当以上の環境性能を有することとしている。」との取組みが示され、事例として、この9月に竣工した大手前合同庁舎が紹介された。

営繕工事における働き方改革の取組については「適正な工期設定、週休2日の推進、施工時期の平準化、I C Tの積極的な活用等。」の取組みが示された。さらに、インフレスライド等、スライド条項の適用については、「工期中の資機材の高騰への対応については、受注者の申出により工事請負契約書第26条のスライド条項の適切な運用を実施している。」との取組みが示された。その他、特例監理技術者の配置要件等について、意見交換した。



大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課

(一社)大阪空気調和衛生工業協会は、昨年11月25日にシティプラザ大阪で大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課との懇談会を開催し、「図面簡略型方式」の発注状況、Z E Bへの取組、インフレスライド等スライド条項の適用等について質疑応答を行った。

懇談会には大阪府から4人、大空衛から10人が出席。「図面簡略型方式」の発注状況について、大阪府からは「今年度から運用を開始し、機器更新がメインの改修工事2件を対象に実施し、現在施工中。」との回答を得た。Z E Bへの取組みについては「府有施設のZ E Bについては、WGにおいて建替え計画のある施設について技術的な指針作りを進めていく予定。」との回答があった。また、インフレスライド等、スライド条項の適用状況については「令和4年度においてインフレスライドの対象案件の受注者から協議請求のあった8件について、協議を行った。」との回答があった。その他、建築工事における「低入札価格調査基準価格等の算定式の取扱い。」の改定については、「ダンピング受注防止を目的に国の通知に基づき改定したもので、数値は、国の基準に準拠。」との回答があった。このほか、大阪府からの質問や報告事項について、意見・情報交換した。



令和4年度賛助会員「新技術・新商品説明会」開催



新技術・新商品説明会のもよう（円内は挨拶する森田経営委員長）

令和4年11月17日に大阪市北区のハービスENTオフィスタワー9階会議室で賛助会員による新技術・新商品説明会を開催しました。

説明会には賛助会員から新技術・新商品紹介として6社が参加。今回は、昨年に引き続き、コロナ禍の中、定員の7割以下に出席者を限定したことで、会員・賛助会員合わせて73名が出席。

冒頭、当協会の森田経営委員長から、「今回の

催しは、6回目で、説明社も年々増加傾向にあり、御礼申し上げる。説明会を継続させるためにも、積極的に応募していただきたい。」と要望しました。

説明会は、別表のプログラムにより、前半の部では、3社から説明の後、小憩。後半の部では、3社から説明がありました。

閉会にあたり、辻経営副委員長から御礼の挨拶がありました。



司会進行の鈴木経営委員



閉会の辞の辻経営副委員長

【説明会プログラム】

No	会社名	新技術・新商品（概要）
1	木村工機(株)	<p>●空冷ヒートポンプ式外調機（室内機・室外機一体）</p> <p>ここ数年、設計事務所、ゼネコン、サブコンより、梅雨から初夏にかけて、「室内の天井や壁等での結露やカビが発生した場合の対策はないか」といった相談が増えております。原因の一つとして、外気が室内温度以下で湿度が高い場合、全熱交換機出口での高湿度やオールフレッシュエアコンのサーモオフにより湿度が下がらない等が考えられます。弊社の外調機は、湿度もモニターしており、高湿度時は過冷却・再熱運転を行うことにより、室内に安定的に除湿した外気を取り入れます。</p>
2	(株)川本製作所	<p>●ステンレス水槽一体型の自動給水ポンプユニット、消火ポンプユニット</p> <p>ポンプ室・水槽・ポンプユニットが一体化、また、ポンプユニットは組付け済、水槽とポンプは配管取付済み、電極は配線済みであることから、設計・施工・搬入・工程管理をユニット一括でご検討いただけます。省力化を図るための検討材料として、お役立ていただけると幸いです。</p>
3	因幡電機産業(株)	<p>●令和4年公共工事標準仕様書改定内容と弊社関連製品</p> <p>【関連製品】・被覆冷媒銅管 ・保温材保護プレート ・振れ止め金具 (因幡電工製品)</p>
4	(株)オンダ製作所	<p>●製品特性を生かした省施工、省コストの実現事例</p> <p>・集合住宅、ホテル、パブリックトイレにおける給水樹脂配管分野での実現事例紹介</p>
5	東洋バルヴ(株)	<p>●オゾン・紫外線・光触媒の三位一体構造により浄化する促進酸化水処理システム</p> <p>オゾンの5倍、塩素の20倍以上の酸化力を有し、有機物の分解も行います。ノンケミカルで小型にて既設にも付帯しやすい製品です。自動車メーカーのエアワッシャー、電子部品メーカーのクリーンルーム向けエアワッシャーに設置することで、エアワッシャー内部の水環境を改善します。フィルターの交換頻度の改善によりコスト削減が図られます。また、水質の改善によりユーザーへの負担が軽減されます。</p>
6	リンナイ(株)	<p>●ウルトラファインバブル給湯器</p> <p>10月発売の新製品です。ミクロの泡が給湯配管を通じて蛇口から出湯し、浴槽・シンク・洗面等の汚れの付着を防止し洗い流します。配管内もきれいに保ちます。</p>



木村工機(株)による説明



(株)川本製作所による説明



因幡電機産業(株)による説明



(株)オンダ製作所による説明



東洋バルヴ(株)による説明



リンナイ(株)による説明

「病院設備設計ガイドライン（空調設備編）」のご紹介

「病院設備設計ガイドライン（空調設備編）-病院空調設備の設計・管理指針- HEAS-02-2022」が、日本医療福祉設備協会より先日5月30日に発行されましたのでご紹介します。

「病院空調設備設計・管理指針」は、1989年に初版が発行され、2004年（HEAS-02-2003）、2013年（HEAS-02-2013）とほぼ9年おきに改訂されてきました。今回の改定もこれまで同様に病院空調設備を取り巻く環境の変化や技術の進歩など、最新の知見を反映したものとなっています。

病院空調設備を取り巻く環境の変化では、地球環境保護を前提とした建築物の省エネルギー、再生エネルギー利用、ゼロカーボンへの取り組みなど、その根底にあるものは社会の持続可能性の追求、すなわちSDGs達成への取り組みにほかならず、前回の改定から一貫して継続されています。

今回改訂で特記すべきものは新型コロナウイルス感染症対応です。感染制御と室内環境のエビデンスの明確化、厚生労働省をはじめとする諸団体の「基準」との不整合などは、前回改訂時より課題となっていました。エアロゾル感染という新たな感染経路の出現で、病院空調設備の換気性能にさらなる検討が必要になりました。改訂は現段階での最新のエビデンスに基づいていますが、今後さらに集積される新たな知見は、調査・分析をして追補として発刊されることになっています。

本書の特徴は以下の通りです。

・推奨項目ごとに「推奨の強さとエビデンスの質」を明示している。

推奨の強さは強い推奨、弱い推奨、未解決の事項に分類、エビデンスの質は高い、中等度、低い、非常に低いに分類されており、必然性が低い項目は弱い推奨、さらにエビデンスの質が低いものは未解決の問題として記されています。（表1）

・改修工事の内容と工事場所からリスクを分析して対策を実施する感染管理リスクアセスメント(ICRA)を記述している。

・COVID-19については、1~2年ごとにアップデートすることで、世界の潮流を積極的に取り込んでいけるように Appendix に記述している。



表1. 推奨の強さ・エビデンスの質のマトリクス

エビデンスの質 Quality of Evidence	推奨の強さ Strength of Recommendation		
	強い推奨 Strong	弱い推奨 Weak	未解決の事項 Unresolved issue
高い High	I A	II	
中等度 Moderate			
低い Low	I B		III
非常に低い Very low			

推奨の強さ

I	強い推奨 (Strong recommendation)
	I A : 強いエビデンスがある推奨事項
	I B : 弱いエビデンスがある推奨事項
II	弱い推奨 (Weak recommendation)
III	未解決の事項 (Unresolved issue)

エビデンスの質

High	大規模・複数施設におけるCohort-study, Randomized controlled trial, Meta-analysisで有効性が確認されている
Moderate	小規模・単一施設におけるCase-control, Cohort-studyなど対照群のある観察研究で有効性が確認されている
Low	Case report, Case seriesなど対照群のない観察研究で有効性が確認されている、 <i>in vitro</i> (実験, 数値解析)で有効性が示唆されている
Very low	慣習的かつ理論的妥当性は認められているが、有効性は明らかではない

目次

1. 概要
2. 医療施設の感染対策
3. 室内環境
4. 部門別設計指針
5. 空調方式・機器
6. 運転・保守
7. 省エネルギー
8. 災害対策
9. 課題と対策

Appendix A. 微細な飛沫やエアロゾルを介した伝播様式と対策

Appendix B. COVID-19 対応のために実施された運転管理の事例

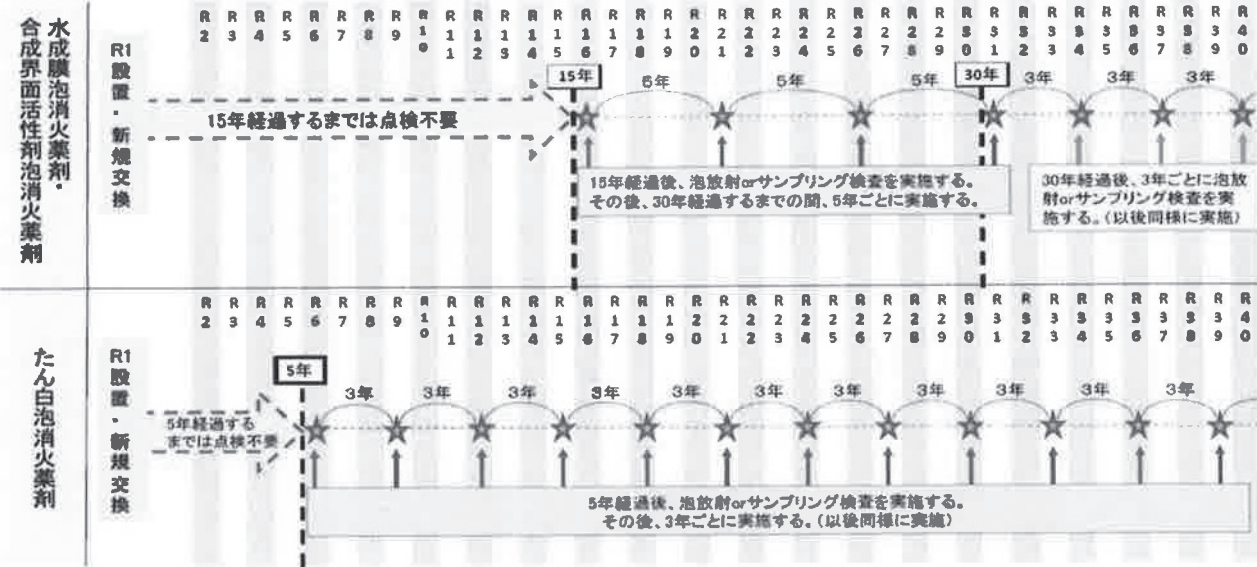
出典：「病院設備設計ガイドライン（空調設備編）-病院空調設備の設計・管理指針- HEAS-02-2022」

書籍購入については、(一社)日本医療福祉設備協会HP <https://www.heaj.org/book/book.html> をご参照下さい。

改正後

設置・新規交換から15年（たん白泡消火薬剤は5年）経過した後は、5年（設置・新規交換から30年が経過したもの又はたん白泡消火薬剤は3年）ごとに消火薬剤の機能を維持するための措置（泡放射orサンプリング検査）を実施する。

＜例＞R1に設置・新規交換した場合



上記告示の公布を受けて、消防用設備等の点検要領も改正されましたので、詳しくは、消防庁ホームページ等にて確認下さい。

『消防用設備等の点検要領の一部改正について（令和3年5月27日付消防予第270号）』

建設キャリアアップシステム、 工期の適正化等で意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会にて構成する第37回4団体協議会が下記により開かれ、「建設キャリアアップシステム（CCUS）」、「民間工事の適正化に向けた取組。」等について、意見・情報を交換しました。

- ・日 時 令和4年7月25日
- ・会 場 新トヤマビル3階貸会議室
- ・出席人数 10名

初めに、事務局から、CCUSについて、説明の後、意見が交わされました。この中では、「CCUSの運営主体である建設業振興基金によれば、カードタッチ回数は、1か月に3回程度しかタッチされていないことから、登録事業者においても、カードタッチがあまり徹底されていない実態がうかがえる。また、カードを忘れた場合の技能者への対応も課題の一つ。顔認証システムとカードリーダーを結び付ければ、就業履歴数は増加すると思われるが、CCUSのシステムには、顔認証データが組み込まれていない。技能者にとって、賃金の上昇といった生活に直結するメリットが感じられないため、レベル2、レベル3の登録者が伸びないのではないかと。能力評価については、日管連は、本年2月頃にレベル1～4の各段階別の基準単価を国交省に提出済。」等の声が出されました。

次に、事務局から、民間工事の適正化に向けた取組について、説明の後、意見が交わされました。この中では、「これからは、3Dが進んでいる中で、設備工事に対して、施主や元請の理解が進むことが期待できる。著しく短い期間を工期とする請負契約の締結を建設業法違反とする事例が示されているが、一方では、国交省等の官庁工事については、工期設定にかなり余裕がある事例がある。大

手ゼネコンの現場では、土日の休みは増えたとのことであるが、下請け（職人）は、土日が稼働している現場に廻るので、現状はあまり変わっていない。2024年の労働時間の規制の期限までに、週休二日にしないと、長時間労働の問題は解決しない。設計変更による工程の延長や施工量の増加によるしわ寄せが、時間外労働の増加になっている。また、人工を増やすことへの予算が組まれていない。工期と同じく、材料費の高騰についても、既に契約済みの工事については、交渉が難しい状況になっている。当社の場合、民間の請負契約においても、スライド条項を記載するよう要求している。民間発注者の中には、材料費の高騰に対して、追加の費用を要求するならば、逆に、材料費が下がった場合は、その分を発注者に返還してくれるのかといった意見もある。」等の声が出されました。

次に、事務局から、20数年ぶりに女性1級配管技能士誕生の新聞記事の紹介の後、意見が交わされました。この中では、「当該女性配管技能士は、技能実技試験に向け、正月も返上し、練習を重ねたと聞いている。その努力の甲斐もあり、合格したと思う。持参工具に、新たにパイプカッターとねじ切り器に刃一体型（カセット式）が認められたことで、作業負担が軽減され、それも合格に繋がった一因ではないか。ダクトの技能実技試験についても、展開切断は機械で行い、組み立てるといった内容に見直す方法もあるのではないかと感じている。」等の声が出されました。また、関西配管工事業協同組合から、特定技能外国人を受け入れるために、上部団体である日本配管工事業団体連合会（日管連）が、（一社）建設技能人材機構（JAC）に正会員として入会することとなったとの報告がありました。その他、事務局から、令和4年度「優

秀建設施工者」大阪府知事表彰受賞について、受賞候補者（今回は熱絶縁工で2名程度）の推薦のお願いを行いました。



第37回会合

また、第38回4団体協議会が下記により開かれ、「インボイス制度」、「建設キャリアアップシステム（CCUS）」等について、意見・情報を交換しました。

- ・日 時 令和4年11月29日
- ・会 場 新トヤマビル3階貸会議室
- ・出席人数 9名

初めに、事務局から、インボイス制度について、説明の後、意見が交わされました。この中では、「基本的に個々の企業で対応するので、特に組合として説明会は考えていない。一人親方の処遇をどうするか、大きな問題。これを機に廃業するケースもあるのでは。若手が入職せず、高齢化が進む中で、職人不足が一段と深刻な問題。」等の声が出されました。また、資材等の高騰を受け、「鉄板も含めた様々な建設資材が高騰する中で、ゼネコンから専門工事業団体に対して、実勢価格の推移状況等について、直接訊いてくるという状況。本来は、ゼネコンとサブコンとの問題。上部団体からサブコンに対して、価格改定のお願いを行ったと聞いている。様々な建設資材、材料が高騰する

中で、価格が下降している材料もあると聞いている。ゼネコンとの関係では、サブコンに対して設計段階での技術協力をお願いされることが多いが、そうした技術協力が当該ゼネコンからの仕事の受注に結び付かないケースがある。当社の抱えている仕事量については、2026年まで一杯という実感で、一方で、職人不足も非常に深刻な問題。大阪・関西万博の工事に全国から職人が集まらないのではないかと危惧している。現場のプレハブ化については、ダクト分野は進んでいるが、配管分野も主流になりつつある。当社は、オフサイト施設を一定の使用条件はあるが、専門工事業者に開放しているので、利用してほしい。」等の意見がありました。

次に、CCUSについて、事務局から説明の後、「配管職種でも、レベル毎の最低年収目安を策定し、公表している。」との声がありました。また、特定技能制度における業務区分の見直しについて、事務局より説明の後、「技能実習制度と特定技能制度を統一する動きがあると聞いている。入管法の改正により、外国人労働者の受け入れ基準について、緩和の動きがある。」といった意見がありました。その他として、事務局から、令和4年度「優秀建設施工者」大阪府知事表彰受賞式典について、近畿保温保冷工業協会から推薦の受賞候補者として、熱絶縁工2名（熟練部門：1名、青年部門：1名）を大阪府へ推薦済みとの説明がありました。



第38回会合

第49回野球大会

株朝日工業社が2年ぶりの優勝



優勝 株朝日工業社大阪支社	準優勝 三機工業(株)関西支社
第3位 ダイダン(株)大阪本社	第4位 大晃設備(株)

最優秀選手賞 株朝日工業社大阪支社 四ツ永 伸樹選手
敢闘賞 三機工業(株)関西支社 山元 康広選手

第49回野球大会は、晴れ渡る秋空の下、令和4年10月12日及び13日の2日間にわたり、セレッソスポーツパーク舞洲運動場で開催されました。15チームでの熱戦が繰り広げられた結果、昨年、惜しくも準優勝となった(株)朝日工業社と2連覇を狙う三機工業(株)とが対戦。10対0で(株)朝日工業社が勝利を収め、2年ぶりの優勝を勝ち取りました。

開会式で挨拶に立った池田会長は「昨年に続きコロナ禍だが、皆さんは設備業界の大切な一員。くれぐれも怪我のないようプレーをお願いします。」と参加者らに呼びかけました。このほか、優勝旗・準優勝カップの返還などがありました。始球式では池田会長が力強い披露、熱戦の火ぶたが切られました。

両日も、白熱した試合が展開され、好プレーのたびに拍手が沸き起こりました。13日の閉会式では、福原副会長から優勝した(株)朝日工業社大阪支社チームへ優勝旗と表彰状等が授与され、続いて準優勝、第3位、第4位のチームへ表彰状・カップ等の授与が行われました。また、(株)日刊建設通信新聞社関西支社・



池田会長挨拶



池田会長による始球式



福原副会長(左)からトロフィーを受ける最優秀選手賞
株朝日工業社大阪支社 四ツ永伸樹選手



福原副会長(左)からトロフィーを受ける敢闘賞
三機工業(株)関西支社 山元 康広選手

松浦支社長から優勝・準優勝チームへ盾が贈呈されました。

閉会の辞で福原副会長は「選手の皆さんは日ごろの成果を存分に発揮してくれた。これからも当協会の重要な行事として引き続き開催していき

い。」とねぎらいの言葉を述べました。

今大会も、審判及び青年部会の皆様による進行・運営により円滑に進み、無事終了することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。



優勝 株朝日工業社大阪支社チーム



準優勝 三機工業株関西支社

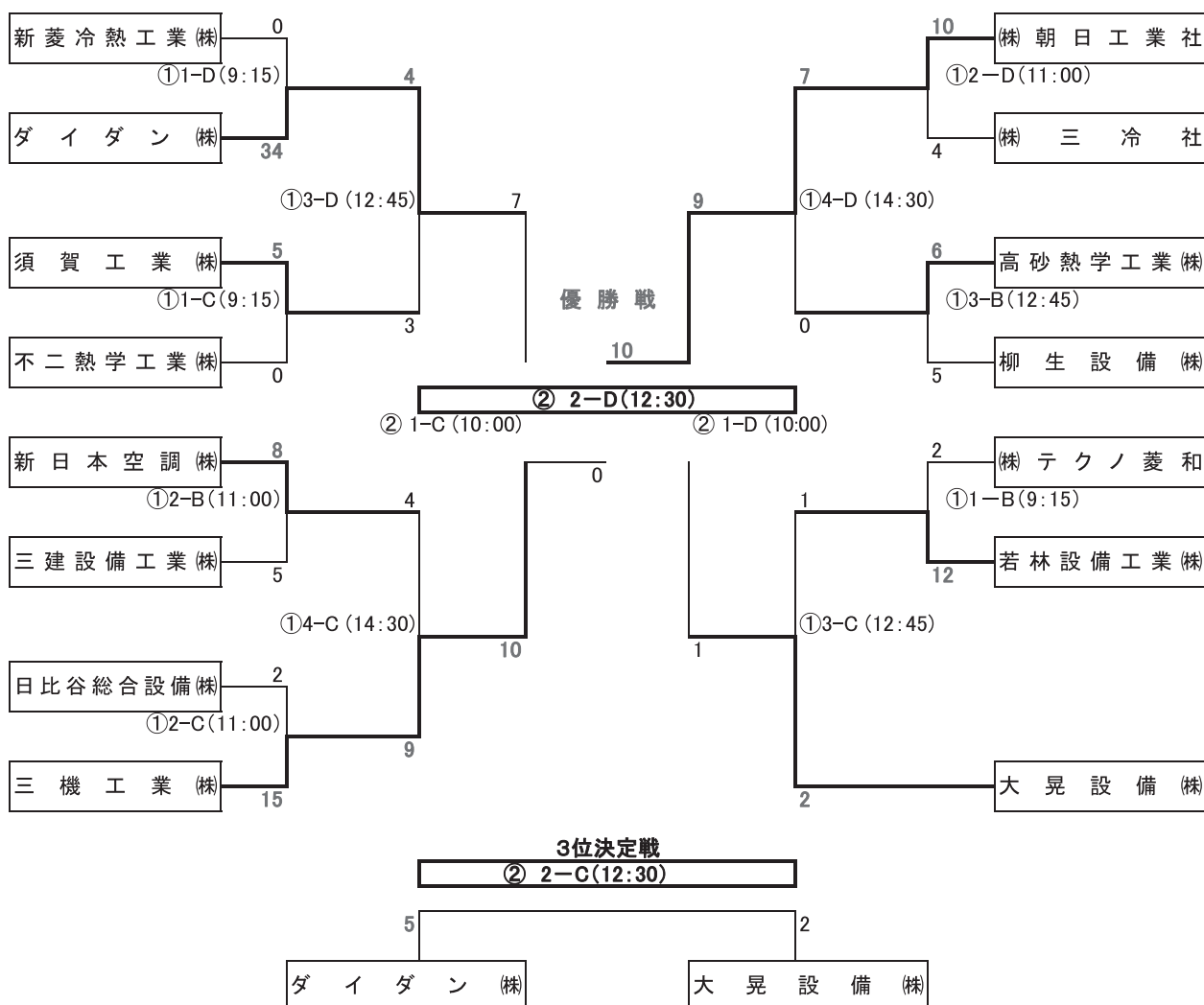


第3位 ダイダン株大阪本社



第4位 大晃設備株

第49回野球大会組合せ表



観戦記 決勝戦

(株)朝日工業社 VS 三機工業(株)

(株)三冷社西日本支社 森下 健二郎

3大会連続で同一カードとなった決勝戦

前回大会の雪辱を晴らしたい朝日工業社が先攻、連覇を狙う三機工業が後攻で試合が始まりました。両チームの先発は、朝日工業社は決勝戦で4人目の先発投手となる小松選手、対して三機工業は4連投となる三井選手となりました。試合は初回から動きます。

1回表 先頭打者がエラーで出塁すると、2番柳田選手が右中間を抜く2ランHRで幸先よく先制します。1回裏 ヒットを打たれ得点圏に進まれるも3つのアウトを全て三振で取る上々のピッチングと対照的な立ち上がりとなりました。2回表 6安打の固め打ちで一挙3得点と波に乗りますが、三機工業も牽制死や刺殺と簡単には崩れません。

3回4回は逆に三機工業が小松投手の乱調からチャンスを作ります。しかしこのピンチを三振で仕留め両軍0が並び硬直状態となります。終盤に

入った5回に再度試合が動きます。5回表先頭の
小松選手がセンターへの2ベースでチャンスを出
出すると、7番桑原選手がレフト前へ2点タイム
リーヒットを打ちます。5回裏 7-0 となりそ
ろそろ反撃したい三機工業は2番首藤選手がレフ
トへの2ベースを打ち、得点圏へランナーを置き
ます。ここは後続にあと1本が出ず無得点に終わ
ります。朝日工業社は6回裏に1回戦で先発した
四ツ永選手へスイッチします。流れが変わりやす
いここを機に差を縮めたい三機工業ですが、6回
裏も0点に抑えられます。最終回の7回 ここを
抑え三機工業は裏の攻撃に望みをつなげたいと
ころです。しかし先頭の本原選手にセンター前を打
たれ出塁を許すと、1アウト後に連投の疲れから

か、三井選手が2者連続死球で1アウト満塁とな
ります。ここで8番吉村選手がレフトへ走者一掃
の3ベースヒットを打ち、10-0 7回裏 1点で
も取りたい三機工業は9番今田選手からの攻撃
ランナーを出し、上位打線へつなぎたいところ
ですが、良い当たりもショート正面のライナーとな
り1アウト。続く打者は四ツ永選手の球威に押さ
れ、10-0のままゲームセットとなりました。

優勝した朝日工業社は4試合で38得点5失点と
投打が噛み合った素晴らしい結果でした。三機工
業は惜しくも準優勝となりましたが、準決勝での
終盤力は素晴らしいものでした。過密スケジュ
ールの中、最後まで全力プレーを貫いた選手の皆
さん、本当にお疲れ様でした。



観戦記 3位決定戦

ダイダン(株) VS 大晃設備(株)

(株)精研 池田 良照

先発投手はダイダン 河合投手、大晃設備 濱
口投手で試合開始です。

初回、ダイダンの攻撃は大晃設備の失策が重な
りランナーを3塁まで進め先制点のチャンスを作
るもそのチャンスを活かせず無得点。後攻の大晃
設備の攻撃では2アウト2、3塁までチャンス
を作るも無得点に終わります。2回も両チーム安打
が続きチャンスを迎えますが実らず無得点にて終
えます。3回で試合が動きます。ダイダンの下林
山選手がヒットで出塁。次なるバッターは井上選
手。下林山選手は盗塁で2塁に進塁。井上選手の
打球は内野安打になりますが、その間に下林山選
手がホームに好走塁し先制点をあげます。その裏、
大晃設備の攻撃では2アウト満塁の機会を迎える
もダイダンは交代したピッチャー丸本投手が三振
に抑え、得点とはなりません。4回表を無失点で
抑えた大晃設備の4回裏の攻撃。四球が続き0ア

ウト満塁のチャンスで田中選手の打球はショ
ートエラーとなりその間に1点追加します。続
く辻田選手の犠牲フライで1点追加とし逆転し
ます。5回表、ダイダンの攻撃では安打で2
塁までランナーを進めると下林山選手の左中
間ヒットで1点追加し同点とします。続く井上
選手の内野安打の間に本日2度目になる下林
山選手の好走塁により1点追加。勝ち越しに
成功します。その後、タイムリーヒットで1
点を追加し3得点をあげ4-2とします。5回
裏はダイダン 北野投手の好投により大晃設
備は無失点に終わります。6回表では安打、
盗塁もありランナーを2塁まで進めるとダイ
ダン 灰塚選手のライト前ヒットで1点追加
し5-2とします。6回裏、7回表では内野ゴ
ロが多かったですが難しいバウンドを両チ
ームの内野選手が見事に捌き無失点で終わ
ります。そして7回裏の最終回。最終回から
交代したダイダン 宮田投手が大晃設備の
攻撃をきっちり3人で抑えてゲーム終了。
ダイダンが3位決定戦を制しました。両チ
ームの皆様本当にお疲れ様でした。

3年ぶりに第16回大空会ゴルフ大会開催

和田氏が見事優勝

令和4年11月15日（火）に奈良県の飛鳥カンツリー倶楽部で48名が参加して、3年ぶりとなる第16回大空会ゴルフ大会を開催しました。

競技結果は次のとおりです。

上位入賞者（敬称略）

- ◇優勝 和田 修治（株式会社ベルテクノ大阪支店）
- ◇第2位 秋田 裕史（大成温調株式会社大阪支店）
- ◇第3位 平地 秀行（鳳工業株式会社）



池田会長始球式



池田会長(左)から和田修治様(右)へ優勝カップ



準優勝秋田裕史様(左)



第3位の平地秀行様(左)



表彰式を兼ねた食事会

青年部会・なでしこ設備会 活動だより

青年部会・なでしこ設備会合同研修会を開催

当協会青年部会（長元伸吾会長）及びなでしこ設備会（坂本明子会長）は令和4年9月7日午後2時から3時30分まで大阪市西区の建設交流館で研修会を開催しました。

今回の研修は、プロサッカーコーチ（監督）の石原孝尚様を講師に招いての講演会となりました。

石原様は「ひとりひとりの『好き』と『得意』をいかす これからの働き方」をテーマに講演し、学生選手からプロ選手と幅広いレベルや世代の指導者としての豊富な経験から学んだ人生訓や考え方などを披露しました。



研修会風景



【講師】プロサッカーコーチ（監督）
石原孝尚 様



青年部会長元会長 開会挨拶



なでしこ設備会坂本会長 閉会挨拶

なでしこ設備会 施設見学会

大和ハウスグループみらい価値共創センター「コトクリエ」@奈良大和郡山

令和4年10月12日（水）になでしこ設備会で、奈良県大和郡山市に昨年オープンした大和ハウスグループみらい価値共創センター「コトクリエ」の見学に行ってきました。昨年度より活動を開始したなでしこ設備会ですが、コロナ禍だったこともあり、集合しても交流の時間が限られていたため、待ちに待った見学会となりました。当日は11名の参加者が集まり、検温、消毒をして、15時からのガイドツアーに参加しました。

こちらの施設は多様な人が集まって、議論・発表を通じ、新しい価値を生み出す場所である「会所」をコンセプトにされています。建物は大きく風のゾーン、太陽のゾーン、水のゾーンの3つのゾーンに分かれており、まずは太陽のゾーンにある太陽のホールにおいて、建物の概要を説明頂きました。太陽のホールは創設者の石橋信夫氏の出身地である吉野の杉等の県産木材がふんだんに使用されており、非常に温もりのある空間となっていました。

また、国際的な環境認証「LEED®」、「WELL®」、「SITES®」の3つを日本で初めて同時取得された施設でもあり非常に注目されていますが、食堂のメニューや自然環境の取入れ等、具体的な配慮ポイントを紹介いただきました。普段の業務で関



コトクリエ正面モニュメント

わらない方であっても、新たな発見があり勉強になったのではないのでしょうか。

館内を一巡する中で、発想を逃がさないようにホワイトボードになっている壁や、自由に意見交換ができる場が各所にありました。また、建設地が平城京の南端に位置していることもあり、着工前の調査で見つかった井戸の跡や出土品も展示されていました。施工当時の設備担当の方より、意匠や環境配慮等から設備工事として苦勞した点もお聞きすることができました。所要時間は2時間でしたが、熱心にお話下さり、あっという間に時間が過ぎていました。

今後もこのような機会を通じて、会員同士の親睦を深めながら、互いの意識改革、業界の価値向上のための活動につなげていきたいです。



壁一面のホワイトボードと館内案内表示



太陽のホール

告知板

○賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは、変化・拡大しております。

特に、「脱炭素社会」という新たな分野への取り組みは、当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ、当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員として入会されますと、当協会において新技術、新商品の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。

多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入
(4,000円×3月までの月数)

以後は年額(48,000円)を下記半期と下半期に分け、上半期は6月末
下半期は12月末に納入

入会手続 協会事務局までご連絡下さい。入会申込書を送付します。

○今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
4月5日(水) 6日(木)	新入社員研修会	エル・おおさか南館 5階南ホール
5月16日(火)	当協会第50回定時総会	リーガロイヤルホテル
8月19日(土)	第13回配管技能コンテスト	大阪府立東大阪高等職業技術専門校

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、中止となる場合があります。

●●●●●●●● 機関誌「大空衛」の表紙写真の募集 ●●●●●●●●

広報委員会では、年2回発行の機関誌「大空衛」の表紙写真につきましては、建築物を中心としたまちなみ等をモチーフとした写真を、会員及び賛助会員の皆様から募集したいと存じます。

つきましては、応募をお考えの方は、事務局(06-6271-0175)までご連絡して下さい。

なお、採用された方には、僅かですが、掲載料をお渡しします。

広報委員会

2023年

迎

春



一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (77社)

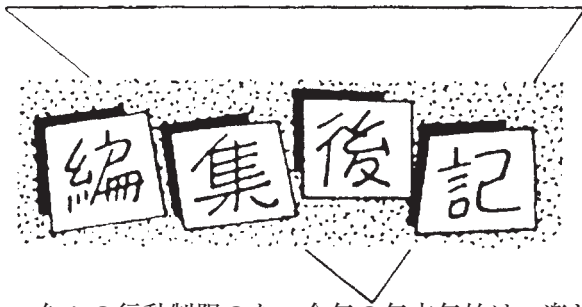
会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	上田 訓司	敷島煖房工業(株)	土橋 誠二
(株)朝日工業社大阪支社	西岡 毅	四國機械設備(株)	曾我 幸二
(株)上杉工業	上杉 嘉邦	島設備工業(株)	井上 暎夫
浦安工業(株)大阪支店	屋敷 直幸	主計管工(株)	中井 主蔵
(株)江坂設備工業	中村 昭一	城陽ダイキン空調(株)	竹下 洋文
エルゴテック(株)西日本支店	高木 登	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
オーディーエー(株)	織田 幸子	新日本空調(株)大阪支店	上杉 晴一
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	新菱冷熱工業(株)大阪支社	江木 毅
鳳工業(株)	齊藤 伸一	須賀工業(株)大阪支社	福原 保豊
奥田商工(株)	奥田 康雅	(株)精研	辻 武寿
影近設備工業(株)大阪支店	東野 大輔	(株)千里技研	山田 正人
川崎設備工業(株)西部支社	田中 正義	第一工業(株)大阪支店	瀧内 秀一
川惣電機工業(株)	昆沙賀正道	第一設備工業(株)大阪支店	中村 秀樹
川本工業(株)大阪支店	菅野 公隆	大貴設備(株)	田窪大五郎
木村工業(株)	木村 之彦	ダイクウ(株)	中村 淳一
協伸工業(株)	森岡 由智	大晃設備(株)	高橋 孝治
(株)共進社工業所	山内 順二	大成温調(株)大阪支店	柴垣 哲
享和設備(株)	竹本 和正	ダイダン(株)大阪本社	池田 隆之
クウケン(株)	杉本 知紀	大熱工業(株)	藪本 繁明
九櫻設備工業(株)	高安 秀幸	高砂熱学工業(株)大阪支店	赤松 孝宏
(株)クドウエンジニアリング	田浦 明敏	(株)タカネソ	高木 優
(株)ケンシヨウ	熱田 敏広	(株)竹本設備	竹本 太郎
五建工業(株)大阪支店	安田 実	田丸産業(株)	堀田 高志
サノヤス・エンテック(株)	浅尾 洋光	(株)テクノ菱和大阪支店	鈴木 俊夫
三機工業(株)関西支社	勝野 耕治	東洋工業(株)	谷本賢太郎
三建設備工業(株)大阪支店	後藤 逸文	東洋熱工業(株)大阪支店	竹田 法正
(株)三晃空調大阪本店	則直 元幸	西川設備工業(株)	関田 一也
三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男	(株)錦	廣田 典子
三宝電機(株)	井上 清人	(株)西原衛生工業所大阪本店	高島 良一
(株)三冷社西日本支社	金子 達哉	(株)日設関西支店	古橋 誠治
(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫	日本管工業(株)大阪営業所	小野 直人

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本ファシリオ(株)大阪本店	植谷 信之	(株) 北 祥	澤村 幸雄
日本メックス(株)関西支店	谷島 錦吾	(株) 前 田 商 会	前田 隆司
(有) 原 設 備	原 良一	(株) マ サ キ 設 備	正木 規善
日比谷総合設備(株)関西支店	荒井 泰徳	丸 住 (株)	吉田 博子
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 康之	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 豊
富士古河E&C(株)西日本支社	野崎 潤		

賛 助 会 員

(68社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	佐竹 輝久	高 井 水 栓 (株)	高井 徹
アズビル(株)ビルシステムカンパニー関西支社	石坂 芳人	タ カ ラ 通 商 (株)	渡辺 晃
アルファ・ラバル(株)大阪支社	竹次 裕佑	(株)多久製作所建築・設備営業本部関西グループ	古川 悠樹
安 藤 (株)	安藤 康雄	(株) タ ッ ノ 関 西 支 店	綿谷 健治
イシグロ(株)西日本営業本部	大杉 正哉	(株) タ ブ チ D S 本 部 大 阪 特 販 部	下玉利 誠
因 幡 電 機 産 業 (株)	山田 剛志	テ ラ ル (株) 大 阪 支 店	若林 聡
井 下 機 器 (株)	井下 光泰	東 西 化 学 産 業 (株) 大 阪 本 社	河野 祐一
荏原実業(株)関西営業所	綿谷 龍一	東 テ ク (株) 大 阪 支 店	糸満 睦夫
(株)荏原製作所西大阪支店	濱 輝明	T O T O (株)	吉田 伸典
(株)オーケーエム大阪支店	野曾原康夫	T O T O 関 西 販 売 (株)	松尾 真也
オ ー ケ ー 器 材 (株)	山田 進一	東 洋 バ ル ヴ (株) 西 日 本 営 業 部	岡崎 大輔
(株)大岩マシナリー関西支社	木下 益男	(株)ニシテックビルシステム事業部	藪川 洋一
株式会社オンダ製作所西日本支店	原 嘉輝	ニ ッ ケ イ (株) 大 阪 営 業 所	田中 広
(株)カナデン関西支社	守屋 太	日 製 電 機 (株) 大 阪 支 社	桂井 善章
川重冷熱工業(株)西日本支社	田中 宏明	ニ ッ タ (株)	鈴木 弘樹
(株)川本製作所大阪支店	三木 久雄	日 本 電 技 (株) 大 阪 支 店	八木 浩一
キタックスエンジニアリング(株)大阪営業所	西本 智彦	日 本 水 処 理 工 業 (株)	川西 昌史
木村工機(株)大阪営業本部	登尾 公彦	(株) 日 阪 製 作 所	大森 輝博
協立エアテック(株)大阪支店	津田 勇	日 比 谷 通 商 (株) 関 西 支 店	芝口 薫
空 研 工 業 (株) 大 阪 支 店	秦 利治	(株) 扶 洋	横田 好明
(株)古島大阪支店	宮城 弘幸	(株)ベルテクノ大阪支店	和田 修治
(株)コスタコーポレーション	白井 敏弘	北 勢 工 業 (株)	北山 秀晴
三和鋼管(株)大阪営業所	藤井 洋央	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 (株) 関 西 支 社	福岡 敬史
ジョンソンコントロールズ(株)大阪支店	小玉 尚文	森 松 工 業 (株) 大 阪 支 店	堤 由幸
新晃工業(株)大阪支社	三輪 隆康	山 内 商 事 (株)	山内 雅也
(株) 振 興 社 設 営	藤井 信夫	(株)大和バルブ西日本統括支店	中野 克浩
新 日 本 美 風 (株)	荒牧 太郎	ヤ マ ト ヨ 産 業 (株) 本 社	大野 賢二
シンテック(株)大阪営業所	田村 周治	ヤ ン マ ー エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム (株) 大 阪 支 社	岡森 年彦
スパイダープラス(株)大阪営業所	野田 隆正	ユ ア サ 商 事 (株) 関 西 支 社	森本 浩之
住友商事マシネックス(株)	福元 寿哉	(株)ユニックス大阪営業所	藤本 努
(株)ソエダ関西支店	小山 尚郎	(株)ヨシタケ 建築設備営業部西部エリア	岡馬 大輔
タイョージョイント(株)大阪営業所	後藤亮太郎	(株)LIXIL LWTJ 関西設備プロジェクト営業所	服部 洋典
(株)ダイキアクシス大阪支店	亀尾 聖二	菱 電 商 事 (株) 西 日 本 支 社	山神 正志
(株)大 和	岩佐 和清	リ ン ナ イ (株) 大 阪 支 店	児玉 宅央



久々の行動制限のない今年の年末年始は、楽しく過ごされましたでしょうか。

去年は、コロナウイルスが落ち着きつつあるなかでロシアのウクライナ侵攻や物価高の影響により不安が残る年となりました。身近に物価高の進行を感じている最近で、できるだけ家計にやさしい買い物をしようと考えています。

ある発表の中で2023年の注目すべきキーワードは、「耐久性」と書かれていました。

買い物するときに意識するポイントは、1, 品質 2, コスト 3, 耐久性が関心ごとになっていて約50%の人が耐久性を意識しているとのことです。耐久性が高ければ製品のライフサイクルは長くなり廃棄されにくくサステナビリティに寄与する。また耐久性は、リペア、リセールによってさらに高くなるので製造者側は、サービス体制、部品管理も求められるようになるとのことです。

今年は、「安物買いの銭失い」とならないよう一度きりの買い物と考えて無駄遣いをなくしたいと思います。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

(H.H)

今年は卯年。うさぎを表す漢字には「卯」と「兎」がありますが、その漢字の意味がふと気になり調べてみました。

中国伝来の十二支はもともと植物が循環する様子を表しているので、十二支の4番目として茎や葉が大きくなる様子を意味する「卯」がくる様です。

また、作物が繁茂している頃のこと、旧暦の四月、新暦の五月頃に当たるとのこと。

「卯」を「兎」と言うのは、十二支が農作業の目安として大事なことなのに、難しい漢字が充てられていることで農民の理解が得られないことから、身近な動物「兎（うさぎ）」に例えて分かり易くしたことで関係が出来たようです。

卯年は、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するという象徴になります。

「卯」と「兎」の二つの意味から、今年が大きく飛躍し、実り多い年になれば、と願ってやみません。

(A.H)

新型コロナウイルス感染が国内で初めて確認されてから早3年が過ぎ、まだまだ感染者は多いですが、感染対策は当然のこととして久しぶりの行動制限のない年末年始を迎えました。

私事になりますが、昨年7月末にコロナに感染しました。当初は、疲れが溜まっていたのか全身が非常にけだるく夏バテかなと自己診断しましたが、39度を超える高熱に襲われ、発熱外来を受診したところ、陽性反応が瞬時に出了ました。自宅療養に入り、規則正しい（単調な）生活を過ごしたところ、1週間経過したころから回復しました。幸いにも後遺症もありません。

感染経路も全く心当たりがありませんので、自身が罹ったことで、誰が感染しても不思議ではないと痛感した次第です。

ワクチン接種に一定の効果があるのは確かですが、疲れ（ストレス）を溜めずに、しっかり食事を摂り、規則正しい生活を送ることが大切ではないかと思うこの頃です。

当分、マスク着用、手洗い・うがい等の生活が続きそうです。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

(S.H)

大空衛 第92号

令和5年1月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会
〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号

新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 株式会社ミラテック



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

機関誌 第 92 号 (新春号)